

北村兼子の SP レコード 主張『怪貞操』の発見とジェンダーについて

篠塚 義弘（関西大学博物館学芸員）

筆者は、2020 年度から 2021 年度にかけて、なにわ大阪研究センターの研究プロジェクト「SP レコード（松本コレクション）のデータベース作成と分析」に研究分担者として参加した。その中で、関西大学的女子学生第 1 号として知られている北村兼子（1903.11.26 生－1931.7.26 没。享年 27 歳）が吹き込んだ SP レコード 主張『怪貞操』を発見したので、以下に報告する。

北村兼子が著した単行本『怪貞操』は関西大学図書館と同年史編纂室が所蔵しており、レコードについては、大場義之が機関誌『関大』第 220 号（1974(昭和 49)年 4 月 15 日発行）に、同名の単行本とレコードを作成したことを記載していたが、レコードの実物はこれまで確認されていなかった⁽¹⁾⁽²⁾。

はじめに

世界経済フォーラム（WEF）は、毎年各国のジェンダー不平等状況を分析し公表している。2021 年は 3 月 31 日に「世界ジェンダー・ギャップ報告書（Global Gender Gap Report）2021」を発表し、世界 156 カ国における「ジェンダー・ギャップ指数（Gender Gap Index:GGI）」を公表した⁽³⁾。ジェンダー格差の少ない国ベスト 3 は、アイスランド、フィンランド、ノルウェーで、日本は前年から順位を 1 つ上げたとはいえ 120 位となった。日本を含む主要 7 カ国（G7）では、ドイツ 11 位、フランス 16 位、イギリス 23 位、カナダ 24 位、アメリカ 30 位、イタリア 63 位で、日本は G7 の中で最下位である⁽⁴⁾。

ジェンダー・ギャップ指数は、「政治」「経済」「教育」「健康」の 4 グループの指標を基に格差



写真 1 SP レコード 主張『怪貞操』

ジェンダーギャップ指数（2021） 上位国及び主な国の順位				
順位	国名	値	前年値	前年からの 順位変動
1	アイスランド	0.892	0.877	—
2	フィンランド	0.861	0.832	1
3	ノルウェー	0.849	0.842	-1
4	ニュージーランド	0.840	0.799	2
5	スウェーデン	0.823	0.820	-1
11	ドイツ	0.796	0.787	-1
16	フランス	0.784	0.781	-1
23	英国	0.775	0.767	-2
24	カナダ	0.772	0.772	-5
30	米国	0.763	0.724	23
63	イタリア	0.721	0.707	13
79	タイ	0.710	0.708	-4
81	ロシア	0.708	0.706	—
87	ベトナム	0.701	0.700	—
101	インドネシア	0.688	0.700	-16
102	韓国	0.687	0.672	6
107	中国	0.682	0.676	-1
119	アングラ	0.657	0.660	-1
120	日本	0.656	0.652	1
121	シエラレオネ	0.655	0.668	-10

図 1 ジェンダー・ギャップ指数
内閣府 Web ページから

を算定しているが、前 2 つの指標は差がつきやすく、後 2 つは首位の国と日本の差は小さい。日本に対する評価は優劣がはっきりしており、読み書き能力、初等教育（小学校）、出生率では、男女間の不平等は見られず、世界ランクは 1 位である。しかし、中等教育（中学校・高校）、高等教育（大学・大学院）、労働所得、政治家・経営管理職、教授・専門職、国会議員数では、男女間の差が大きく、世界ランクはいずれも 100 位以下である。これらリーダーシップを発揮すべき分野での日本のジェンダー格差は大きいと評価されている。

関西大学の女子学生

さて、関西大学総合案内 2021（データ集）によると、2021 年度の学部新入生は 6,661 人で、その内 2,815 人（約 42.3%）が女子学生である。学部全体でも 27,736 人中、11,438 人（約 41.2%）が女子学生であり、年々増加傾向にある⁽⁶⁾。女子比率の多さは、日本の大規模総合大学としてはトップクラスである。

歴史を遡って、関西大学が正式に女子学生を迎えるのは、第 2 次世界大戦後の幣原内閣による「女子教育刷新要綱」に基づき学則改正した 1946（昭和 21）年であるが、本学が初めて女子学生にも門戸を開いたのは、1923（大正 12）年である。関西大学は、1922 年 6 月 5 日に大学令に基づく大学への昇格を果たし、山岡順太郎総理事を筆頭に「学の実化」講座をはじめとする新たな取り組みを展開した⁽⁶⁾。これらの取り組みの一貫として、翌 1923 年には女性の参加を認める「夏期語学講習会」や「日曜自由講座」を開催し、女子学生にも門戸を開いた⁽⁷⁾⁽⁸⁾。その先陣を切って一人の女子学生、北村兼子が聴講生としてではあるが 1923 年 10 月法文学部法律学科に入学した。その当時、すでに我が国ではいくつかの大学で男女共学制を実施していたが、非常に珍しい事象であったと言えて、現在とは隔世の感がある⁽⁹⁾。

官立大阪外国語大学（現在の大阪大学外国語学部）を経て、19 歳で関西大学に入学した北村兼子について、入学後の活動を簡単に記しておく。学者の家系に生まれた北村兼子は、父および祖父の薫陶を受けて幼少から漢文教育を受け、千里山短歌会では短歌を詠んだ。短歌は『関西大学千里山学報』に掲載されているので、年史編纂室の Web ページから参照することができる⁽¹⁰⁾。大学 2 年在学中の 1924 年 6 月、高等試験に出願したが女性であることを理由に受験不許可となり、同年末には教育の男女機会均等を掲げて女子学生連盟の演説を行っている⁽¹¹⁾⁽¹²⁾。



写真 2 洋服姿で授業を受ける北村兼子（最前列）

そして、在学中の 1925 年には雑誌「婦人」2 巻 2 号に掲載された『法律を学ぶ私』が認められて大阪朝日新聞社の試用社員となり、1926 年 3 月に法律学科全科目の聴講を修了して 4 月には正社員となるが、文筆活動に専念するため 1927（昭和 2）年 7 月に退社した⁽¹¹⁾⁽¹²⁾⁽¹³⁾。

その後、文筆活動だけでなく、1928 年ホノルルで開催された汎太平洋婦人会議に日本の政治部委員として市川房江（日本の婦人参政権の実現などに尽力した婦人運動家、のちに参議院議員となる）らと共に参加したり、1929 年ベルリンで開かれた万国婦人参政権大会に日本代表として出席し、ドイツ語で「日本に於ける婦人運動と婦人公民法案の否決」という講演を行うなど、婦人参政権の実現に向けて精力的な活動をしている。1930 年には飛行機の操縦技術を学ぶが、1931 年 7 月に訪欧飛行を目前に病死、享年 27 歳であった⁽²⁾⁽¹³⁾。

SP レコード「松本コレクション」

筆者は、当研究プロジェクト「SP レコード（松本コレクション）のデータベース作成と分析」において、SP レコードの整理・分類とデータベースの作成に取り組んだ。

まず、松本コレクションであるが、伊丹市在住であった松本正美氏（故人）が蒐集した、主に大正から昭和中期にかけて日本国内で発売された SP レコード群であり、今回の調査で、約 4,000 枚を確認した。その蒐集分野は、単に西洋クラシック音楽だけではなく、主だったものだけでも講演・朗読・実況記録に始まり、歌劇・民謡・映画音楽・流行歌から義太夫・謡曲などの日本芸能と幅広い。

松本コレクションの総数は、松本氏自ら手書きした記録によると、概算で約 3,500 曲から約 6,000 曲あるが、重複記載や、初期の片面録音のレコード、両面録音でも A 面・B 面が別記載になったものがある。手書き記録の中には、いわゆる出張録音という、明治期に技術者が外国から日本に出張して録音し、自国に戻ってレコードを作成したものもあった。これらのコレクションは、ご遺族から大阪音楽大学に寄贈されたものを、大阪音楽大学から本学が引き継いだもので、幾度かの移設を経たため、レコード枚数などの全体像が不明確になっていたが、今回全容を明らかにすることができた。この中で、本学と縁のあるレコードをいくつか確認することができた。そして、その 1 つとして北村兼子の肉声を記録した SP レコードを発見したのである。

ここで SP レコードについて、簡単に触れておく。1877 年にトーマス・エジソンが蓄音機を発明したが、その時は円筒型レコードであった。10 年後の 1887 年にベルリナーが円盤型レコードを発明し、その後も改良が加えられた。SP レコードは、カイガラムシの樹脂を主成分にしたシェラックと呼ばれる材料で作成された平円盤に音を記録し、再生するものである。1 分間に 78 回転する SP レコードは、片面で約 4～5 分程度記録でき、日本では 1960 年代前半まで生産されたが、LP、CD、DVD など記録媒体の進歩で姿を消した⁽¹⁴⁾。

北村兼子の SP レコード

大正から昭和にかけて、レコードは音楽を楽しむだけでなく、政治家の主張や講演、朗読、戦争の記録などにも大いに利用されていた。当時の最新技術を利用して音（肉声）を記録し大量に配布することは、世間に対して紙媒体以上の宣伝効果があったと思われる。

北村兼子は、レコード発売の直前に同名の単行本も出版している。北村兼子は、単行本『怪貞操』の序の結びに「この本は、乞食が憐れみを乞う巡礼歌でなくして、卑しい男性に対する職業婦人の強い抗議でございます。」と記している⁽¹⁾。北村兼子は、本だけでなく先進的なレコードを活用して、世間に対して、自らの被害体験に基づいた当時の職業婦人に対する男女間の不平等について反論したのである。

今回発見した SP レコードは、日東蓄音機株式会社製（ニットー・レコード）の 10 インチ（直径約 25.4cm）レコードで、レコード番号「2454」である。レーベルには、「主張 怪貞操 大阪朝日新聞社 婦人記者 北村兼子」とあり、録音時間は、実測で A 面約 4 分 43 秒、B 面約 4 分 45 秒である。

本とレコードの発売時期について、本の出版は、井上章一の『近代日本のセクシャリティ 19』に再収録された北村兼子の『怪貞操』の初版奥付で 1927（昭和 2）年 2 月 5 日印刷、同年 2 月 10 日発行と確認できた⁽¹⁵⁾。



写真3 単行本『怪貞操』



写真4 『怪貞操』のレコード・レーベル

レコードの吹込み・発売時期は、『ニットータイムス』1927年4月号に、『怪貞操』の新譜案内が掲載されていた⁽¹⁶⁾。当時のレコード業界の慣行では、新譜案内の掲載月の前月が発売月であるため、発売は1927年3月と思われる。また筆者は、後述する単行本の記述やニットータイムスの記事などからレコードの吹込み時期は1927年2月から3月上旬である可能性が高いと推測した。

筆者が判断した理由として、単行本に掲載されている文章は、SP レコードに記録されたものと比べて、大幅に加筆されている点が挙げられる。なお、本と SP レコードの文章量は、本が SP レコードの約 10 倍以上であり、二者の差はあまりに大きい。そして、単行本の後

述にあたる「怪貞操（続）」には「怪貞操の前編を発行所へ渡しておいて、それが活字に組める間に後編の筆を執る」、「私がこの本を書き始めたのが昭和元年の12月25日で、新聞社勤めの片仕事だから意外と暇どって、いまこの稿を書いているのが翌年の1月25日である。」とあり、奥付によれば後半の執筆から初版の印刷（2月5日）・発行（2月10日）まで、10～15日の短期間に行われたようである。

怪貞操前半部分と彼女の従来からの主張である「主義は鋭かれ」を元にしてレコードの吹込み原稿は作成できる。これらのことから、レコードへの吹込みは、完成した単行本からレコード原稿を抜粋するのではなく、本の草稿原稿の作成とほぼ同時であると推測した。

レコード吹き込みに関連した写真を北村兼子の関係者から本学年史編纂室に寄託された同氏の遺品の中から発見することができた。写真5は、蓄音機吹き込み用メガホンの前で、出版した『怪貞操』を持って立っている。当時のニットー・レコードはマイクを用いた電気録音の試験運用期間であり、旧来の機械式録音方式によるメガホンを用いていた。そのメガホンの前で読上げ用原稿ではなく、出版した単行本を持って立っている姿は、レコード宣伝のためのブロマイド写真ではないかと推測される。『ニットータイムス』1927年4月号にも同様の北村兼子の写真が掲載されている。



**写真5 蓄音機吹き込み用メガホンの前で、
本『怪貞操』を持って立つ北村兼子**

『ニットータイムス』同号には、この他にも北村兼子に関して興味深い記事が数件掲載されている。

1つ目は、SPレコード 主張『怪貞操』に関する北村兼子自身の吹き込み後の感想と評論家による論評である。北村は「本来の意旨は、卑劣な男子の挑戦に対する一步も譲らない応戦であります。声量が不十分なため女の愚痴のように聞こえるでしょうが、力一ぱいに投げた手弾であります」と少し謙遜して述べている。論評には、「男は勿論 職業婦人たるものも是非一度聞いてみる必要のあるレコードである」と宣伝気味に評されていた。

2つ目は、レコード吹き込みと同時期である1927年3月頃に日米親善を目的とした「青い目の人形」事業に関して、ニットー・レコードが吹き込んだ「青い目の人形を迎える歌」（レコード番号2426）の収録現場の写真に北村兼子が写真5と同じ服装で写っていたので

ある。つまり、ブロマイド写真はこの事業のレコード収録日と同一日に撮影された可能性が高い。「青い目の人形を迎える歌」の記事には、「大阪朝日新聞の高雄氏等も一緒になって、レコードの吹き込みが行われた」とあった。松本コレクションにも同レコードは所蔵されていたので試聴したが、残念ながら彼女の歌声は録音されていなかった。

SP レコード『怪貞操』（文字起こし）

今回、SP レコードのオリジナル音源を文字起こししたので、以下に紹介する。

録音されている北村兼子の肉声は演説調で淀みがなく、力強い印象を受けた。

1 点だけ注釈を加えておく。北村兼子は自らの様子を「洋服、腰弁と心ブラをした」と表している。当時としては珍しい洋服を着て、書生（男子学生）のように腰に弁当をぶら下げたり、心斎橋をブラブラ歩いたのである。大正から昭和初期にかけて最先端に行く「モダンガール」である北村兼子の主張をお読み頂きたい。主張『怪貞操』は、男女間の不平等を世間に訴える主張であり、最後の段落は日本の女性に対して不平等を覚醒させ、奮起を促す主張である。彼女の先鋭的な表現をユーモアと捉えるか、皮肉と解するか読者の判断は分かれると思われる。

なお、読みやすくするため、文章はなるべく常用漢字と現代仮名遣いを用いていること並びに、今日では不適切と思われる表現があることをお断りしておく。

A 面：主張 北村兼子 「怪貞操（上）」 約 4 分 43 秒

怪貞操とは、怪しい貞操、お化けの貞操で、形態からしてなんだかグロテスクのようですが、いうところは、私ども婦人が社会裁判に訴える、真剣の告訴状でございます。

虫のような一つの婦人記者を囲んで吠え立てる新聞雑誌がその数、実に三十に余る、二号で小さい、一号でも足らない、初号特号、なるべく大きな活字に見出しを組んで、刺激強く攻めかける。道楽にしてはたちがよくない。商売にしては余りにあくどすぎる。泥だらけの手を振り廻されてはたまりません。

先輩たちは「彼らのなすがままに棄てて置け」とおっしゃる。どこまで、いつまで黙っていなければならないんでしょう。もう怒ってもいい、^{かくど}赫怒してもいい。いやしくも貞操問題を持ち出して女の一生に^{きず}創をつけたがる卑劣漢を放任しておけば癖になります。沢山な男の口から男の筆からけなしつけられている私が、こんなことに議論するのは尊いレコードを自己弁護に代用するばかりでないのです、大きくいえば職業婦人擁護であり、女性擁護であり、汎人間主張でございます。なぜかならば女性の行動に対する男性の態度は共存でなく、突き落としであります、批評でなく罵倒であり嘲弄でございます。こんなワンダフルな世界に生まれた女性は萎縮するか、または敢然として対抗するかの二途のいずれかを選ぶより外にないように運命づけられているのでございます。

洋服腰弁と心ブラをした。それは握り太のステッキをついて歩いたくらいの心持ちであったのに、また神経衰弱そうな男と偶然に自動車に同乗した。それも知り人と乗合い自動

車で顔を合わせたくらいに思っていたのに、それが重大な結果に捏ねあげられる材料になろうとは全く夢です、天災です、職業婦人が活動の自由を要求する程度が高まっている今日に、いつまでも貞操を島国的の小幅ものにして道德の標準を世界的の広幅ものに織れないものか、そんな道理を知らないのでもない、知って知らないふりで、やかましく吠えるのです、男と逢ったら一定の間隔を取れというのでしょうか、電車のように。

この貞操のスタンダードは日本だけにしか通用しない国産貞操であるから、このまま葬られてしまったら国産奨励になるわけなのですが、つねにはイギリスはどうの、アメリカはこうのと、西洋人の惣代のような顔をして、外国の現状を論議の基調としている連中まで、都合のいい時だけカンカンの国粋党となつての品行方正づらは勝手すぎます。すべてのものが国際関係を持っている今日に、国境を超越した人類の思想が共通線をもつ今日に、自分の品行が疑惑に包まれたからといって、陰謀策動の前に倒れては悪例を残します。男は笑うでありましょう、彼女はとうとう倒れた、君も書いたか、僕もやったよ、といって。

旧道德廢れて、新道德がまだ起らない、貞操の標準がきまっていないのですから思想体系からいえば職業婦人は遊牧の民であります。遊牧の民には国境も法律もない、ただ自己の信念の動くままにするより外にはない、まあいわば筆法に拘束されない米元章^{べいげんしょう}の滄墨山水でございます、女学校で教わった修身をそのままにやっけて行けといつても、今日の教育は学校限りのもので、実社会に出て見れば額面通りに支払ってくれない震災手形でございます。

B 面：主張 北村兼子 「怪貞操（下）」 約 4 分 45 秒

自然主義、唯物主義、利己主義などの調合で現代思想が組み立てられていますから、社会に及ぼす臭味なんかは少しも顧みることなしに一直線に進んで行く、舗装した模範道路に肥車を曳いて行くように。恋をするにしてもそのやり方で押し切るのは悪いというのではございませんが、随分あつかましい方式で、私には出来ない。

日本伝統の安静な犠牲恋愛をうち毀^{こわ}してきたものは、日本伝統の恋愛と体系を異にする自由恋愛、科学恋愛で現在の状態では三つ巴の混乱状態を呈していますから、批判の余裕なき直写模倣派、時代を無視して伝来の様式に訂正を加えぬ攘夷派、その一部又は幾部を取捨する中間党に分かれておりますが、彼等の説くところはみな筆の上の詭弁であつて、この混乱した安定の予想さえつかない折にぶつかった私たちは、この三派から思い思いの悪罵を満喫しなければならぬ不運な時代に生まれたものでございます。

「まだまだ悪口を書くぞ」と予告している雑誌もでございます。忍耐力の強いのに感心していますと次から次へと土の中から、のこのこ頭を出す。松たけにしてはシュンが過ぎている、筈にしては早すぎます、ひっこめひっこめ。ものには時季があるんですもの。

草も生えないような土地は土地としての値うちがない、そのように恋のない身体は、身体としての蛻^{ぬけがら}でございます、私は恋愛を礼讃いたします、しかしその恋愛たるや、いわゆる恋とは恋ぶりがちがうのです、私の主張するのは恋の構成派でございますから頭の悪

い写生派には構想が了解できないところもございましょう。恋愛は尊い、墮落は卑しい、恋愛即墮落ではない。

墮落したからといって私を攻める、それもよろしかろう、それから進んで私の属している新聞社にまで悪たいをつきます、そして放逐せよとわめきます、このやり方は戦いとして卑怯なもので、私はこれを憎みます。

研究会から政党内閣へ割り込んでさえ個人の資格だといいます、私が墮落したからといって私の属する新聞社——とりわけ品性を尊重する新聞社を引合いに出すことは嫌がらせでございませう、私は墮落しても憚りながら個人の資格でございませう。

だがお気の毒さま、私は墮落してはいない、私のあとをつけ廻わして墮落の種を拾おうとしても、それは猫を解剖して熊の胆を探しているほどの無智さでございませう、原稿をつきつけて、「あなたの品行問題を書くぞ」と脅しつけるのは、弱いと見くびっての敵前上陸であり、拷問墮落であり、拳骨墮落であり、誘導墮落であり、本人の知らない下品調書でございませう。

水平運動が社会から認められるようになったのは、そこに気骨があり、団結があり、かつ磅礴的な熱とが機会を増して永遠たる炎となって燃えあがろうとする、その薄気味の悪いところにあります。鮮人運動にしましても、幾ばくたる不平があり、反発的の気概がありますから、生命の凄みがあります。社会主義者の運動も、主義がある、勇気がありますから、遅くとも確かに試歩を進めていきます。これら三運動の可否・善悪は言わないとして、これら三運動が旧思想に対抗して、国家主義に挑戦し、貴族閥に肉薄して驚異を感じしめているということは、明らかな事実でございませう。しかるに婦人運動の現状を顧みますときに、水平社員の声よりも、社会主義者の声よりも、また、鮮人の声よりも多く、全国民の約半数という大勢を擁しながら、何らの権利もなく、利益もなく、日がな嘲笑のうちに運動に盲動をもっているでございませう。

ご婦人方よ、「君は 鋭^{するど}かれ ！」、私はこの言葉をもって結びたいと存じます。

終わりに

北村兼子は『法律を学ぶ私』で、「法治国に生まれたものが、国法を知らずに盲動する程、大胆なものはない。」と述べ、男性だけでなく女性を含めて全ての人に自らの目覚めを促している⁽¹⁷⁾。彼女の主張は、極めて素直であり、先鋭的であった。あまりに先鋭的であったため、今日では忘れ去られているが、男女間の性差についての主張は、今日でも通用すると思われる。むしろ100年後の今日の方が、「#MeToo 運動」として受け入れられたかもしれない。もしも彼女がその後も活躍を続けていれば、日本のジェンダー平等が進み、我が国に対するジェンダー格差の評価は少し違っていたかもしれない。

今回、北村兼子が録音した SP レコード主張『怪貞操』についての報告を作成するにあたり、学内や学外のレコード関係者など多くの方々の協力を得ることができた。心からお礼申し上げる次第である。

レコードは寄贈を受けた松本コレクション約 4,000 枚のレコードの中から発見した。単行本『怪貞操』は関西大学図書館と同年史編纂室に所蔵されており、北村兼子の SP レコードに関する写真は同氏の関係者から年史編纂室がお預かりしている資料の中に含まれていた。関西大学は、来年 2022 年に「昇格百年・千里山百年」を迎え、再来年 2023 年には北村兼子の入学 100 年目となる。この記念すべき佳節を前に、これらを結びつける報告をすることができたのは大きな喜びである。

引用・参考文献

- (1)北村兼子『怪貞操』1927（昭和 2）年 改善社
- (2)大場義之「北村兼子（上）」機関誌『関大』第 219 号 p.4 1974（昭和 49）.3.15.
大場義之「北村兼子（中）」機関誌『関大』第 220 号 p.4 1974（昭和 49）.4.15.
大場義之「北村兼子（下）」機関誌『関大』第 221 号 p.4 1974（昭和 49）.5.15.
- (3)世界経済フォーラム（WEF）「世界ジェンダー・ギャップ報告書（Global Gender Gap Report）2021」 Japan p.233-234 2021.3.31.
<https://www.weforum.org/reports/global-gender-gap-report-2021>
- (4)内閣府男女共同参画局「世界経済フォーラムが「ジェンダー・ギャップ指数 2021」を公表」 『共同参画』2021 年 5 月号 p.8
https://www.gender.go.jp/public/kyodosankaku/2021/202105/202105_05.html
- (5)関西大学総合案内 2021（データ集） p.11 2021.6.
- (6)熊 博毅「関西大学の秀麗たち—女子学生ものがたり—」の記録 『関西大学年史紀要』23 p.39-57 2014.3.
- (7)「夏期語学講習会」『千里山学報』 第 12 号 p.8 1923(大正 12).9.15.
- (8)服部嘉香「講習会礼讃」『千里山学報』 第 12 号 p.24-25 1923(大正 12).9.15.
- (9)「男女共学制の実施に因んで」『千里山学報』 第 13 号 p.21 1923(大正 12).10.15.
- (10)「千里山短歌会」『千里山学報』
第 15 号 p.24 1924(大正 13).1.1. 第 16 号 p.13,p.16 1924(大正 13).2.15.
第 20 号 p.18-19 1924(大正 13).6.15. 第 21 号 p.22 1924(大正 13).7.15.
- (11)『婦人』全関西婦人連合会 1925 年 2 月号 他
- (12)『全関西婦人連合会 復刻版』不二出版 1996.5-1997.12
- (13)大谷渡『北村兼子：炎のジャーナリスト』東方出版 1999.12.20.
- (14)『日本のレコード産業 2021』一般社団法人日本レコード協会、2021.3.30. p.9
<https://www.riaj.or.jp/f/pdf/issue/industry/RIAJ2021.pdf>
- (15)井上章一 解説「ジャーナリズムと性」（再収録『竿頭の蛇』、『怪貞操』）『近代日本のセクシュアリティ 19 風俗から見るセクシュアリティ』 ゆま書房 p.7 2007.12.25.
- (16)『ニットータイムス』1927 年 4 月号

- (17)北村兼子『ひげ』1927年 p.195-205 改善社
- (18)大場義之「北村兼子」『関西大学百年史 人物編』 p.389-397
- (19)根川幸夫「船旅と海賊とモダンガールー北村兼子の台湾・広東紀行」『日文研』62巻、
P.13-19、2019.3.31
- (20)文珠 正子「関西大学に於ける女子学生の軌跡ー大正末から昭和にかけてー」『関西
大学年史紀要』6 p.215-230 1984.11.